

「SDG モーメント」に際しての
菅総理ビデオメッセージ
(令和3年9月20日(月)に発出)

グテーレス事務総長、
シャーヒド総会議長、
御出席の皆様、

新型コロナウイルスの感染拡大は、
持続可能な開発目標の様々な分野に深刻な影響を与えています。
2030年までの目標達成には、
各国が、前例にとらわれない戦略を立て、
団結して取組を加速しなくてはなりません。
多国間主義を重視する我が国は、目標達成に向けて、
国際社会の取組をリードしていく決意です。

このような認識の下、我が国は、
様々な組織・団体、市民社会の意見を踏まえた
自発的国家レビューを4年ぶりに発表し、
新型コロナからの「より良い回復」に向けたビジョンを示しました。
このレビューに基づき、
今後、各国との連携や国内の更なる啓発につなげていきます。

具体的には、この感染症との闘いには、
ワクチン等への公平なアクセスの実現が不可欠です。
また、将来の危機に備え、

より強靱な国際保健システムの構築も重要です。
我が国は、人間の安全保障の理念に立脚し、
「誰の健康も取り残さない」という考えの下、
ユニバーサル・ヘルス・カバレッジ達成への取組を続けていきます。

同時に、ポストコロナ時代を見据え、
気候変動問題への対応や、デジタル化の推進、
ジェンダー平等の実現などに向け、
あらゆる分野でイノベーションを促進・活用し、
未来を先取りする社会変革を進めていきます。

持続可能な開発目標は、
我々が直面する未曾有の危機を乗り越え、
世界をより良い未来に導くための重要な羅針盤となるものです。
年内には、コップ26や我が国が主催する栄養サミットなど、
この開発目標に深く関わる国際会議が控えています。
我が国は、これらの会議も通じて、
2030年までの目標達成、
そして、その先の希望に満ちた未来に向け、
全力で取り組んでまいります。

御清聴、ありがとうございました。